



2024年8月8日

各位

会社名 株式会社 F U J I ジャパン
代表者名 代表取締役 佐々木 忠幸
コード番号 1 4 4 9 札幌
問合せ先 取締役管理部部長 山内 将之
電話番号 0 1 1 - 2 9 9 - 5 3 6 1

2024年12月期第2四半期（中間期）の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年2月8日に公表しました2024年12月期第2四半期（中間期）（2024年1月1日～2024年6月30日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたことをごお知らせいたします。

業績予想との差異及び修正について

2024年12月期第2四半期（中間期）の業績予想数値と実績値との差異（2024年1月1日～2024年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	734	14	15	9	4.39
実績（B）	575	△14	△12	△14	△6.92
増減額（B－A）	△158	△28	△27	△24	
増減率（％）	△22.7	-	-	-	
（参考）前期第2四半期実績 （2023年12月期第2四半期）	744	2	5	4	2.01

（差異の理由）

2024年12月期第2四半期（中間期）業績予想は、当社では、札幌支店・横浜千葉支店の北海道・関東エリアと仙台支店の東北エリアに分け、この二本柱による営業展開を図り、引き続き粗利益率の向上にも努めてまいりました。また、地域に根差した採用と人材育成による営業力強化に注力した体制作りを継続してまいりました。

しかし、エネルギー価格の高騰や円安が続くなど、物価高騰による消費者マインドの低下の影響は大変大きく、受注件数が大きく減少することとなり、売上高、営業利益、経常利益、中間純利益のいずれも予想を下回る結果となりました。

なお、近時の円高急加速、株式市場株価乱高下など未曾有の経済環境変化が当社に与える影響が不透明であることから、2024年12月期通期業績予想は据え置くことといたしました。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上